

2011年度

科目名	美術史学実習 I				
担当教員	田中 健一				
配当	文財2		コード	11026	
開期	前期	講時	月曜日1限	単位数	1
授業テーマ	美術史学専攻希望学生が美術作品の鑑賞方法と調査方法を習得する。				
目的と概要	授業や美術作品鑑賞を通じて美術作品に関する情報収集を行い、現場で実物資料の扱いとフィールド・ノートの作成を行うことによって、美術作品に対する理解を深める。授業のほかに、学外実習として、博物館の特別展観覧・寺院の仏像拝観を数回行い、美術工芸品調査なども実施する。				
成績評価法	平常点(50%)とレポート(50%)により評価する。				
テキスト	なし				
参考書	適宜指示する。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	【注意・助言】博物館の展覧会観覧や美術工芸品調査などの学外実習に全回参加しないものは履修を認めない。また、調査・見学は人数に制限がある場合があるので、美術の卒業論文作成予定者を優先する。学外実習の際は、交通費・昼食代などに実費が必要となる。調査或いは見学は土曜日に実施するので、当日不都合な者は履修に適さない。各授業日程については、変更がある場合があるので、共同研究室的の掲示に注意すること。 【準備学習】展覧会や寺社の見学では、短時間で多くの作品を見ることになるので、受講者は事前に通史的なテキストを読んでおくなどして、自分の関心を明確にしておくこと。				
講義計画					
(1) 学内 イ 見学会の予習 ロ 調査の基礎練習（用具の準備、資料の扱い方、記録の取り方、法量の測り方） (2) 学外 イ 調査 土曜日に実施（5人×3日、1日のみ参加、人数に変更のある場合がある） 調査は和泉市内寺院或いは河内長野市内集会所において行う ロ 観覧 土曜日に実施（京都国立博物館、奈良国立博物館など）					